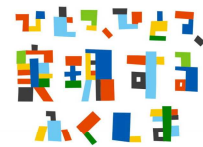


主要な農作物の生育情報

令和3年度 第6号

(令和3年9月8日)

福島県農林水産部農業振興課



【作物】

1 水稲

農業総合センターの作柄解析試験では、出穂期が本部（郡山市）で平年より5～6日早く、会津地域研究所（会津坂下町）、浜地域研究所（相馬市）で平年より2～3日早くなりました（表1）。登熟は、8月3～4半旬の低温寡照により緩慢になっています。

表1 水稲主要品種の出穂期（本年値）と成熟期（平年値）

調査場所	品 種	移植期 (月日)	出穂期			成熟期の 平年値 (月日)
			本年 (月日)	平年 (月日)	平年差 (日)	
本 部	ひとめぼれ	5.14	7.30	8.4	-5	9.17
	天のつぶ	5.14	7.31	8.6	-6	9.19
	コシヒカリ	5.14	8.7	8.12	-5	9.28
会津地域	ひとめぼれ	5.20	7.27	7.30	-3	9.9
	天のつぶ	5.20	7.30	8.1	-2	9.13
研 究 所	コシヒカリ	5.20	8.3	8.5	-2	9.17
浜 地 域	ひとめぼれ	5.10	7.29	8.1	-3	9.13
	天のつぶ	5.10	7.31	8.3	-3	9.23
研 究 所	コシヒカリ	5.10	8.7	8.9	-2	9.28

注1) 調査場所は、本部が郡山市、会津地域研究所が会津坂下町、浜地域研究所が相馬市

注2) 平年は、2016～2020年の平均

2 大豆

農業総合センター作柄解析試験の標播の開花期は本部（郡山市）で平年より2～3日早く、会津地域研究所（会津坂下町）で平年並、浜地域研究所（相馬市）で平年より2日早くなりました。

表2 大豆主要品種の開花期

調査場所	品 種	播種期 (月日)	出穂期		
			本年 (月日)	平年 (月日)	平年差 (日)
本 部	タチナガハ	6.1	7.24	7.27	-3
	あやこがね	6.1	7.24	7.26	-2
	里のほほえみ	6.1	7.24	-	-
会津地域	あやこがね	6.1	7.24	7.24	±0
研 究 所	里のほほえみ	6.1	7.25	-	-
浜 地 域	タチナガハ	6.10	7.31	8.2	-2
	里のほほえみ	6.10	7.30	-	-

注1) 調査場所は、本部が郡山市、会津地域研究所が会津坂下町、浜地域研究所が相馬市

注2) 平年は、2016～2020年の平均。里のほほえみは平年値なし。

【野菜】

1 きゅうり

県北地方の雨よけ栽培、県中地方の露地栽培では、梅雨明けの後に収穫ピークとなりましたが、8月中旬の低温により生育が停滞しています。抑制栽培では、8月上旬から収穫が始まっています。病害は、雨よけ栽培でべと病、露地栽培で炭そ病が発生しています。

2 夏秋トマト

県南地方の4月定植の作型では、現在収穫中で12~13段花房が開花しています。南会津地方の5月下旬定植の作型では、同じく収穫中で9~11段花房が開花中です。8月中旬の低温の影響により、収穫の遅れと草勢低下が見られています。病害虫について、灰色かび病、うどんこ病、葉かび病、コナジラミ類、アザミウマ類、オオタバコガが発生しています。

3 さやいんげん

5月定植の作型は収穫終了し、6月播種の作型が収穫中となっています。また、7月播種の作型は生育期で、概ね良好に生育しています。

4 夏秋ピーマン

トンネル栽培、露地栽培とも現在収穫中ですが、8月中旬の低温の影響により、着果数が減少しています。病害虫では、斑点病の発生が見られるとともに、一部でオオタバコガの発生が見られています。

【果 樹】（9月1日現在：農業総合センター果樹研究所）

1 もも

「川中島白桃」の収穫盛期は8月13日で平年より12日早くなりました。果実の大きさは423gで平年より大きく、糖度は12.9° Brixで平年並でした。

「ゆうぞら」の収穫盛期は8月21日で平年より12日早くなりました。果実の大きさは384gで平年より大きく、糖度は12.4° Brixで平年よりやや低くなりました。

2 なし

「幸水」の収穫盛期は8月21日で平年より8日早くなりました。果実の大きさは413gで平年より大きく、糖度は11.6° Brixで平年よりやや低くなりました。

「豊水」の満開後139日（8月27日）の成熟調査では、果実硬度が5.4ポンドで平年よりやや高く、糖度が11.6° Brixで平年よりやや低く、果皮中クロロフィル含量は5.71 μ g/cm²で平年よりかなり高く、蜜入り指数は昨年並で平年よりやや高い傾向にあります。「豊水」の収穫開始日は8月30日で平年より13日早くなり、成熟等品質を確認しながら適期収穫を図っています。

「豊水」の果実肥大は、縦径が82.5mmで平年比109%、横径が95.5mmで平年比110%と平年より大きい状況です。満開後日数の体積指数で比較すると、平年よりやや大きくなっています。

3 りんご

「つがる」の収穫開始日は8月24日で平年より3日早くなりました。収穫開始時の果実品質は、果実重が304gで平年より大きく、糖度は13.6° Brixで平年より高く、果肉硬度は9.1ポンドと平年より低くなりました。

「ふじ」の果実肥大は暦日で比較すると、縦径が76.4mmで平年比106%、横径が82.9mmで平年比105%と平年よりやや大きい状況です。満開後日数の体積指数で比較すると、平年並です。

【花 き】

1 キク類

8月咲きの切り花盛期は7月末から8月1半旬で、平年並からやや早くなりました。草丈は、平年並からやや長くなりました。

9月咲きの生育は平年並からやや早まっており、出荷直前となっています。草丈は平年並からやや短くなっていますが、出荷に必要な切り花長は十分に確保されています。

病害虫は、白さび病、ハダニ類、アザミウマ類の発生が散見されています。

2 リンドウ

8月盆向け早生品種の切り花盛期は7月末から8月初めで、平年より5日程度早まりました。草丈は、平年並からやや長くなりました。

9月彼岸向け中晩生品種の生育は平年並から早まっており、8月下旬から出荷が始まっています。草丈は平年並から短くなっていますが、出荷に必要な切り花長は十分に確保されています。また、花卉の高温障害が一部の地域で散見されています。

病害虫では、葉枯病や褐斑病が上位葉まで進展しているほ場が一部でみられています。また、黒斑病の発生が各地で見られており、拡大傾向にあります。

【飼料作物】

1 牧草

3番草の生育期となっており、生育はほぼ平年並です。3番草は9月中旬から収穫・調製が行われる見込みです。

2 飼料用トウモロコシ

生育は平年並です。8月下旬から収穫・調製が行われています。

3 W C S用稲

8月下旬から収穫・調製が行われています。

◎ 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報（ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>）等を活用し、適切に対応しましょう。

☆ 農作業事故を防止しましょう！

体調管理に十分留意し、農業機械の操作にも注意しましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7344

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html#seiikujoyouhou>